安全・景観・環境を提案する"群交協"

第83号

群交協だより

URL:http://www.gunkoukyou.com/

令和6年1月10日　発行

発　行
群馬県交通安全施設業協同組合
前橋市大手町1-2-6　☎027-223-3343

発行責任者　久保田　雅　之
編集発行人　南　雲　淳　司

群馬県知事　山本　一太

明けましておめでとうございます。

群馬県交通安全施設業協同組合の皆さまには、新春を健やかにお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

知事としての2期目がスタートして5ヶ月が経ちました。新年を迎え、改めて県政を担うことの重責に身の引き締まる思いであり、皆さまの負託に全身全霊で応えていきたいと決意を新たにしています。

昨年は、原油価格や食料品などの物価高騰への対応など、県民生活や事業者を支えるための対策に全力を注ぐとともに、約3年に及んだ新型コロナとの闘いを乗り越え、新しい群馬を創るための取り組みを進めた1年でした。特に、群馬県で初めて誘致に成功した「Gセブン7群馬高崎デジタル・技術大臣会合」の開催は、群馬県が重要な国際会議の開催地となりうること、そして、魅力あふれる地域であることを国内外に示すことができたと考えています。

また、新たな地域交通システムである「グンマースGunMaaS」のサービスを開始することができました。将来的には県内全域でサービスを展開し、県民の利便性を向上させるものです。高齢者や免許を持たない学生など、自家用車がなくても、いつでも外出できるような持続的な公共交通への転換を進めていきます。

さらに、海外の先進的な取り組みを採り入れ、群馬県がさらに発展する道を開くため、独自の地域外交を精力的に展開しました。昨年は、国を挙げたコンテンツ振興で成果を上げている韓国、経済発展が著しく有望な投資先として注目されるベトナム、非認知能力を育てるSEL教育の先進地であるスコットランド、世界最先端のデジタルクリエイティブ企業が集まるアメリカを訪問いたしました。外国政府や企業とのハイレベルな人脈を構築するとともに、知事自らによるトップセールスにより数多くの知見を得ることができました。これらを群馬県の活性化につなげていきます。

この他、いわゆるワイズスペンディングの考え方に基づき、行財政改革にも注力しました。これにより、大きな予算を必要とする、高校生世代の医療費無料化、老朽化した小児医療センターの再整備、利根川新橋の整備など、将来を見据えたさまざまな事業を決断することができました。

本年も、新・群馬県総合計画ビジョンに掲げた「すべての県民が、誰一人取り残されることなく、自ら思い描く人生を生き、幸福を実感できる自立分散型の社会」の実現に向けて、あらゆる分野で群馬の強みを活かした独自の「群馬モデル」を発案、実行、発信していきます。厳しい時代にあっても誰もが健康で豊かに暮らせるよう、これまでにない新しい発想で、群馬県から日本を変えていくという「攻めの姿勢」で県政を前進させていく覚悟です。

新しい年が県民の皆さまにとって実り多き素晴らしい1年になりますよう、心からお祈り申し上げます。

令和六年一月一日

群馬県交通安全施設業協同組合
理事長　久保田　雅之

あけましておめでとうございます。

会員各位におかれましては穏やかな新春をお迎えの事とお慶び申し上げますと共に、平素より当組合活動に多大なるご協力とご指導をいただいております事を心より感謝申し上げます。

昨年は、コロナ感染防止を図りながらも行動制限が大幅に緩和されるなど、社会経済活動の正常化に向けた取組が進み景気の持ち直しが期待されました。しかし、国際情勢を背景とした原油・原材料・資機材の価格高騰や急激な円安等が物価高をもたらし、各業界が大きな影響を受ける一年となりました。そんな折ではありますが、交通事故の無い誰もが安心して暮らせる安全な社会の実現に向け、我々群馬県交通安全施設業協同組合は、本年も鋭意務めさせていただく所存でございます。また、群馬県が取り組んでいます『ぐんま・県土整備プラン』における「誰もが安全・快適に移動できる社会の実現」に向け、交通安全施設の重要性の観点から道路管理者の方々との連携をさらに深め、社会資本整備の着実な推進に一役を担いたいと思います。さらに行政からのニーズに品質の高い仕事でお応えし、より一層の協力体制を築き地域社会に貢献していかなくてはなりません。また、社会資本の整備が計画的かつ安定的に行われるよう関係機関に広く訴えていくとともに、経営基盤の強化や、担い手の確保・育成、生産性の向上、働き方改革など、克服すべき諸課題の解決に積極的に取り組んでまいります。

本年が、新たな挑戦と成長の年となるように技術の進化や社会の変化に対応し、より高度で効果的な交通安全施設の整備に向けて努力してまいります。その中で組合員の皆様方にも更なるスキルの向上や情報の共有をお願いいたします。また群交協の結束が地域の交通安全に寄与する事と信じています。

結びになりますが、皆様方の益々のご多幸とご健勝を祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。

令和六年一月一日

第30回 交通安全施設研究会

令和五年十月三十一日(火)Gメッセ群馬において、組合員及び賛助会員のほか、関係自治体職員の皆様をお迎えして「第三十回交通安全施設研究会」を開催いたしました。

冒頭に、当組合の久保田理事長が「関連行政機関の皆さまとの連携強化を図り、高品質かつ効果的な施設をご提供し、安心して道路を利用できる環境づくりに貢献していけるよう一役を担いたい。」と挨拶・決意を述べました。

その後に講演へと移り、まず群馬県警察本部交通部交通規制課の丁名塚直人課長補佐から「県内の交通安全対策について」を講演して頂きました。次に群馬県県土整備部道路管理課交通安全対策室の磯貝学交通安全係長から「中高生の自転車事故対策について」をテーマに講演して頂きました。当組合賛助会員日鉄防食株式会社粉体コート・建資事業部営業部の石垣正裕道路資材グループマネージャーから、「大型案内標識柱地際補強・防食工法について」を発表して頂き、最後に日本地工株式会社都市環境事業部営業第1課の佐藤大樹主任から「道路付属物基礎(ポールアンカー)について」の解説をして頂きました。

県民の安全安心を守る群馬県交通安全施設業協同組合として、関係行政の皆様と共に新しい技術を勉強し、情報共有を図り、技術向上を心掛けて邁進して参ります。

路面標示技能検定

令和五年八月八日(火)に、伊勢崎市内にある群馬県職業能力開発協会の技術検定場で、厚生労働大臣認定の国家資格である単一等級『路面標示施工技能士』の実技試験が行われました。

今回は、十六名(溶融⑮加熱(1))が資格取得に挑みました。実技試験は、作図と塗装作業を行い採点を受けました。

日頃から慣れているはずの作業でも、猛暑の中であり、また検定委員のいる状況での緊張のため、力を発揮するのが難しく厳しい内容の試験となりました。この実技試験と九月二日(日)に行われた学科試験に合格した十二名が路面標示施工技能士となりました。

これからも組合員一同、安全に工事を行える人材育成を目指すと共に、責任ある技能士として研鑽を積んでいきたいと思います。

佐藤基金への寄付

令和五年十一月二十七日(月)、交通事故により扶養者を失った子どもたちへ奨学手当などの給付を行う佐藤交通遺児福祉基金に二十六万六千五百八十円を寄付させて頂きました。

寄付金の受贈式は県庁で行われ、久保田理事長から青木貴雄常務理事(＝県道路管理課交通安全対策室長)に寄付金を手渡し、感謝状が贈呈されました。

組合側からは久保田理事長のほか須藤常務理事、近藤青年部理事、南雲青年部会長が出席しました。

青木常務理事は「交通遺児となった子供たちが未来に希望を持ち、健やかに成長してゆけるよう、今後も尽力していくので、引き続きご協力を賜りたい。」と述べられました。

当組合では毎年恒例のつり大会で寄付を呼び掛け、募金及び模擬店の売上を寄付させて頂いておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催が見送られておりました。本年は、四年ぶりにつり大会を開催することができ、多くの募金を集めることが出来ました。

■組合員

ダイケンテクノ㈱・㈱中井産業・富友産業㈱・㈱三積商事・㈱サンテック・サン㈱・㈱信交・㈱コムテックス・新日東㈱・群馬ライン企画㈱・㈲高崎保安機材・共進安全㈱・五菱産業㈱・昭和サイン㈱・中央ライン㈱・㈱日栄ライン工業・㈱日装・㈱ヒロタ・富士技工㈱・マーキングウェイ㈱・㈱三山・㈱友邦

■賛助会員

㈱アークノハラ営業部販売課・㈱吾妻商会交通用品部・アトミクス㈱道路事業部・岩澤建設㈱群馬支店・岳南光機㈱・信号器材㈱北関東営業所・新道路企画㈲桐生支店・スリーエムジャパン㈱トランスポーテーションセーフティ事業部・積水樹脂㈱群馬工場・燕振興工業㈱・日鉄防食㈱道路資材グループ・日之出水道機器㈱埼玉営業所・扶桑工業㈱群馬営業所・YSポール㈱高崎支社(ヨシモトポール㈱)